土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川江の川水系 神宮寺川 測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	R2-Bor.No.3	調査位置	広島県庄原市口和町（本堤左岸袖部）	北緯	34° 55' 11.9400"
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所	調査期間	令和3年 2月 3日～ 令和3年 2月 4日	東経	132° 53' 47.6770"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 368.52m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	5.00m	地盤勾配	31° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D型 / エンジン：ヤンマー TF-90M / ポンプ：東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	366.92	1.60		礫・粘土混じり砂		褐～暗褐	rd4		細砂～中砂主体。粘土分を全体的に10%程度混入する。φ10～30mm程度の亜角礫を少量混入する。GL-0.80m以深，粘土分増える。	
2				花崗斑岩		灰褐～褐灰～淡褐灰			礫状～短柱状コアを呈する。一部，亀裂面に砂や粘土を挟む。GL-2.30～3.80m間，風化著しく，ハンマー軽打で礫状に崩れる。GL-3.00～5.00m間，部分的に漏水有り。	
3										
4										
5	363.52	5.00								
6										
7										
8										
9										
10										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
38	1.15	20	8	10	38/300		
	1.45						
50以上	2.00	貫	入	不	能	50/0	0
50以上	3.00	貫	入	不	能	50/0	0
50以上	4.00	貫	入	不	能	50/0	0
50以上	5.00	貫	入	不	能	50/0	0

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				2/3
				2/4